

事業概要：さくらんぼ王国果樹産地活性化事業

申請者	山形県					初回採択回	令和7年1月募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	277,175千円 (72,038千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野（大項目）	強い経済
目的・効果	・温暖化の影響による気候変動に対応する技術を導入し、果樹の安定生産を図る ・生産効率を高めるためスマート農業を活用し、生産性の高い果樹栽培を推進する ・担い手を確保するため樹園地継承データベースを活用し、園地継承を円滑に進める ・山形県産フルーツ及び果樹農業に関する情報発信を行い、消費者の理解醸成やブランド力の強化を行う						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 気候変動に伴う気象災害の頻発化や果樹生産者の減少と高齢化が進行し、果樹栽培面積の減少に歯止めがかからない。そのため、気候変動の影響に対応するための技術開発・検証、高温に強い新品種の早期開発、スマート農業技術の導入推進、樹園地継承の推進、県産フルーツの理解醸成及びさくらんぼのブランド力強化に取り組み、果樹産地の維持・発展を図る。					 やまがた紅王 (大玉新品種)  自動防除機 (スマート農機)	
	○気候変動の影響に対応するための技術開発・検証 ・高温対策に必要な資材・設備等の導入支援（補助金）40,000千円 ・新品種開発早期化のための試験栽培面積の増強（需用費）2,492千円 ○スマート農業技術の導入推進 ・スマート農業技術開発や自立ロボット台車等の実証（委託料等）3,310千円 ○樹園地継承の推進 ・「樹園地データベース」システムの横展開（委託料等）1,057千円 ○県産フルーツの理解醸成 ・魅力発信及び知名度向上による販売促進（委託料）9,288千円 ○さくらんぼのブランド力の強化 ・高品質安定生産や「やまがた紅王」のブランド確立（報償費等）13,647千円						

■具体的な交付金の使途及び実施体制

事業内容（設備・備品）		支出方法	支援対象者	山形県	事業推進主体		委託先等		連携市町村		
				役割	名称（関係性）	役割	名称（関係性）	委託内容			
生産技術導入推進、樹園地継承の推進											
1	気候変動の影響に対応するための技術開発・検証を実施 ・標高の高い地域でのさくらんぼ栽培の適応性について調査を行い、栽培適地の検討を行う ・生育診断調査や温暖化に対応した果樹の適応性調査を行う	報償費		・全体の進捗管理・統括 ・調査	(同左)						
		需用費									
		委託料				・全体の進捗管理	株式会社鈴商 （県からの委託）	・さくらんぼ改良型雨よけ施設の被覆収納			
		使用料				・全体の進捗管理・統括					
	樹園地継承の仕組みづくりを実施（試験運用） ・樹園地の出し手の情報を公開する「樹園地継承データベース」システムを運用、改修	委託料		・全体の進捗管理 ・関係者との調整	(同左)	民間企業（未定） （県からの委託）	・樹園地情報を入力することが可能なデータベースとホームページ自動作成システムを構築				
		役務費									
		使用料									
		需用費									
スマート農業を活用した未来型果樹栽培の推進											
2	スマート農業技術の導入を推進 ・自動灌水システム、補光装置の開発・実証をクラウドを活用して実施 ・自動散布ロボット等省力化に資するスマート農機をレンタルして実証 ・さくらんぼAⅠ選果機の導入実用性を検討 ・さくらんぼ自動収穫ロボットの開発	報償費		・全体の統括業務	(同左)						
		需用費				・全体の進捗管理 ・調査、技術・品種開発					
		役務費					・全体の進捗管理 ・技術開発				
		賃借料						・全体の進捗管理 ・調査			
		委託料							・全体の統括業務 ・試作機改良の評価・検証	山形大学工学部 （県からの委託）	・さくらんぼ収穫ロボット試作機改良
		ブランドの確立と情報発信									
3	県産フルーツのプロモーションを強化するため、情報発信を実施 ・冊子作成やキャンペーン開催等により、県産フルーツをPRする	委託料		・全体の進捗管理	(同左)	民間企業（未定） （県からの委託）	・県産フルーツの魅力発信に向けた冊子の作成や、PRキャンペーンの実施 ・「やまがた紅王」試食PRイベント等の開催				
	さくらんぼの高品質安定生産、新品種の知名度向上によるブランド力強化 ・「山形さくらんぼブランド力強化推進協議会」を核として、さくらんぼの高品質安定生産、新品種「やまがた紅王」の生産拡大、知名度向上に取組み、「山形さくらんぼ」のブランド力強化を図る	報償費				・全体の進捗管理・統括					
		需用費					・全体の進捗管理 ・調査、技術開発				
		役務費						・全体の進捗管理・統括			
		使用料									
		新技術の開発、生産技術導入推進									
4	高温対策に必要な資材・設備等の導入を支援 ・高温対策資材・設備等を導入する農業者団体、農業法人への支援	補助金	農業者団体 農業者法人 農協等	・全体の統括業務 ・市町村との調整業務	(同左)						
	気候変動に適応するさくらんぼの新品種開発期間を短縮し早期に生産現場に普及できるよう、新品種候補の試験栽培面積を1.6倍に増強し、その場所に新たに必要となる雨よけ施設の資材を購入	需用費				・試験栽培用雨よけ施設設置					
	結実対策強化のための新技術を実証 ・静電式受粉機を導入し、効果の現地実証を行う	備品購入費					・試験用静電式受粉機の導入				